

学校通信

学校生活における大切なお知らせです

2013年9月20日発行 第125号 (毎月1回発行)

- スケジュール (9/24~11/3) P3
- 教務からのお知らせ P4~P6
- 事務室からのお知らせ P7~P9
- 進路支援からのお知らせ P10~P13
 - 「進路サポートスペース」からのお知らせ (P13)
- 生徒支援からのお知らせ P14~P19
 - 「スクーリング前の来校」について (P14)
 - 「スクーリング中の生活」について (P14)
 - 「保健室」からのお知らせ (P15)
 - 「カウンセリングスペース」からのお知らせ (P16~P18)
 - 「フィジカルサポートスペース」からのお知らせ (P19)
- 今月の聖句 P20

<同封物>

- 「学習アシストルーム」のご案内 (青) <全員>
- 「思春期の教育を共に考える集い」のご案内 (白・両面) <全員>
- 特別活動「大阪マラソン”クリーンUP”作戦」のご案内 (緑) <全員>
- 「小論文対策・志望理由書作成講座」のご案内 (桃) <全員>

●後期講座登録は9/24 (火) ~10/2 (水) に実施します。

※ 詳細は、「教務からのお知らせ」(P.4) をご覧ください。

●後期スクーリングは、10月21日 (月) より始まります。

YMCA学院高等学校

TEL 06(6779)5690 FAX 06(6779)1831 <http://www.ymcagakuin.ac.jp>

「学校通信」はバックナンバーを含め、本校のホームページで閲覧できます。

「教員ブログ」(月・水・金)も更新中です。本校のホームページをご覧ください。



「前期の振り返りをしっかりと！」

気象庁の有識者の分析によるとやはり今夏は「異常気象」だったようです。100年に1度と言われる大雨が毎年降れば、そりゃあ「異常」ですよ。また、この夏は本当に暑かったですね。「暑夏」と表現されるようで、日本の最高気温も高知の四万十市で41度と更新されました。そんな暑さも、ようやく峠を越えたようで、朝晩はやっとすごしやすくなりました。

夕方近くの公園を散歩していると、虫の音も聞こえてくるようになりました。遠くに、生駒の山が夕霞に見えました。ふと、種田山頭火の句を思い浮かべたので調べてみました。「笠にとんぼをとまらせてあるく」「歩きつづける彼岸花咲きつづける」「どうしようもないわたしが歩いている」。日本全国を行脚し、俳句を詠んできた人なので、「歩く」ことに思いを込めて詠まれた句が多くあります。また、「また見ることもない山が遠ざかる」「すべてころんで山がひっそり」「山のいちにち蟻もあるいている」など、山を詠った句も多く見られ、その中に「人生」「命」をやさしく包みます。「まっすぐな道でさみしい」「つかれた脚へとんぼとまった」。

夕方の散歩など、ふとしたことからいろいろなことに思いを寄せるいい季節となりました。前期を終えて、歩んできたことが正しく進むことができたか、立ち止まってしまっていたか、次はどの道を進んでいくのか、「捨てきれない荷物の重さまへうしろ」。それでも自分がしてきたことは、自分にきちんと報われます。「あの雲がおとした雨にぬれている」「こんなにうまい水があふれている」。この時期にきちんと前期の振り返りをして、よりよい後期へとつなげてください。

本校の卒業要件

- ① 高校に3年以上在学すること。
- ② 74単位以上修得すること。
- ③ 必修科目は履修認定を得ること。
- ④ 「総合的な学習の時間」を3単位以上修得すること。
- ⑤ 特別活動に30時間以上参加すること。

(『2013年度版 学務の手引き』より抜粋)



スケジュール(9/24~11/3)

日	曜	行事予定など
9 月		
24	火	特別活動：後期講座登録（3年次予約者）
25	水	特別活動：後期講座登録（3年次予約者）
26	木	特別活動：後期講座登録（3年次予約者）
27	金	特別活動：後期講座登録（2年次予約者）、進路サポートスペース（10：00～16：00）
28	土	13年度前期卒業式（該当者のみ）、特別活動：街美化ボランティア（予定）
29	日	
30	月	特別活動：後期講座登録（2年次予約者） 指定校推薦校内1次応募締切日
10 月		
10/1	火	特別活動：後期講座登録（1年次予約者）、「調査書」発行開始、 「大学入試センター試験」志願票校内締切日
2	水	特別活動：後期講座登録（1年次予約者）
3	木	
4	金	進路サポートスペース（10：00～16：00）
5	土	特別活動：ラーマン大学合唱コンサート・交流会、 教育講演会「思春期の教育を共に考える集い」（大阪YMCA会館）
6	日	
7	月	
8	火	
9	水	
10	木	
11	金	YMCA記念日(学校休業日)
12	土	
13	日	
14	月	(体育の日) 特別活動：チャリティーラン
15	火	
16	水	後期登録講座の「個人時間割」・「レポート集」など発送（予定）
17	木	1Mクラススクーリング&サポート開始日
18	金	進路サポートスペース（10：00～16：00）
19	土	特別活動：街美化ボランティア（予定）、進研模試(記述式)
20	日	
21	月	後期スクーリング開始日（年内12/20まで）、〔学校通信〕発送予定
22	火	1Lクラススクーリング&サポート開始日、進路サポートスペース（10：00～16：00）
23	水	
24	木	
25	金	
26	土	
27	日	
28	月	進路サポートスペース（10：00～16：00）
29	火	「学習アシストルーム」開始日（12/19まで）
30	水	
31	木	
11 月		
11/3	日	(文化の日) 大阪南YMCA主催ファミリーカーニバル

教務からのお知らせ

【後期の講座登録】下記の日程で実施。日時は事前に必ず担任と予約してください。

3年次 9月24日(火)、25日(水)、26日(木) 午後
2年次 9月27日(金)、30日(月)
1年次 10月1日(火)、2日(水) (1Mは10月1日13:30~)

※事前に必ず担任と日時の予約をしてください。予約をせずに来校した場合は、登録することができず、あらためて来校しなければなりませんのでご注意ください。

■後期の講座登録は上記期間のうち1日、1人10~20分程度で行います。

9月20日(金)のホームルームで、担任と個別面談の日時を予約しています。

(ホームルームを欠席した人は、必ず担任と連絡をとってください)

■予約の日時には確実に来校してください。

予約した日時に来られない時、欠席した時は、必ず担任に連絡をしてください。

■事前に〔2013年度後期開講講座の概要〕と〔2013年度後期時間割〕(いずれもホームルームで配付、欠席者には送付)をしっかりと確認してください。

■あらかじめ自分が学習しようと思う講座を選んでおき、講座登録時に担任と相談しながら決めて登録します。

【レポート集・時間割・教科書の発送】

■後期の講座登録にもとづき、皆さんの届け出住所あてに、「個人別時間割・レポート集・バーコードシール・返信用封筒をセットにしたもの」と「教科書」をお送りします。

「個人別時間割」等のセットは10月16日(水)に本校から発送する予定です。

■このセットが届いたら、すべてそろっているか、特に自分の登録した講座のレポートに間違いがないか、レポート袋の中に全回分のレポートが入っているか確かめてください。

■教科書は教文堂^{きょうぶんどう}という書店から送られます*。入荷の都合等により、配達の正確な時期は予告できませんが、おそくとも10月21日(月)のスクーリング開始までには配達される見込みです。

届いた教科書もすべて間違いがないか調べてください。

*本校では教科書の受け渡し(販売)のために、教科書販売会社「教文堂」に発送を委託しています。

「教文堂」とは個人情報の管理が図られるよう、必要かつ適切な監督を行っています。

■レポート集や教科書等に間違いや不足のものがあつた場合、学校に連絡してください。

スクーリング開始後、学校で交換や不足物をお渡しします。

誤送・不足物の申し出期限は、11月1日(金)で、それを過ぎると再発行または再購入として有料になる場合がありますので気をつけてください。

■レポート類や教科書が何らかの事情でスクーリングまでに配達されなかった場合でも、登録した講座には出席してください。

(講座登録時の「生徒用控」で登録講座を確認してください。)

【後期のスクーリング開始】 10月21日（月）開始

- スクーリングは10月21日（月）より始まります。
- 「個人別時間割」にもとづき、各自の受講講座が始まる最初の曜日・時限から出席してください。
- 「個人別時間割」に表示されていない、または表示と異なる講座もありますので、各講座の「学習計画表」も合わせて確認してください。
- **1Mクラスは10月14日（木）より、1Lクラスは10月22日（火）よりスクーリング&サポートが始まります。ホームルームで配布するスケジュールで確認してください。**

【スクーリング時の持ち物】

- スクーリングに必要な持ち物は、各講座の「学習計画表」や講座別の「案内紙」などで確認してください。
- 「美術」、「書道」、「ペン習字」などは、用具が初回から必要です。忘れると、スクーリング出席が認められません。
詳しいことはレポート袋に説明書きが入っていますので確認してください。
- 「**体育**」の1回目の授業は、教室で座学を行いますので、**運動の用意は要りません。**
教科書・レポートを持ってきてください。
「**体育g**」は、1回目からプールに入りますので、水着（セパレートは不可）等の用意が必要です。
「**体育e**」は、1回目から実技を行いますので、運動の用意が必要です。2回目からは実技を行います。道着、はかま持っている人は持ってきてください。

【「調査書」「推薦書」の発行について】

- 大学・短大・専門学校に出願する際には、高校が発行する「調査書」が必要になります。
各学校の出願に必要な書類および出願期間を確認し、「調査書」が必要な人は、担任を通して早めに申し込んでください（申込みから発行まで、1週間かかります）。
- 本校での「調査書」の発行は、8月20日（火）から行っています。
ただし、前期の成績の入った正式な「調査書」は、10月1日（火）から発行します。
- 「**推薦書**」が必要な場合は、作成に時間がかかる場合もありますので、早めに担任に申し込んでください。
※「調査書」「推薦書」の発行については、「事務室からのお知らせ」（P.7）、「進路支援からのお知らせ」（P.11）もご覧ください。

【忘れ物について】

- 前期末までに職員室に届けられ、保管されている忘れ物について、後期の講座登録期間
[9月24日(火)～10月2日(水)]中に講座登録の会場に展示しますので、心当たりの方は確認の上、自分のものがあれば持って帰ってください。
- 保管されている忘れ物は、10月末をもって処分しますのでご了承ください。

【制作品の持ち帰りのお願い】

- 芸術科や家庭科などで制作した作品で、これまで学校で保管されていたものは、ホームルームや後期の講座登録などで来校の機会に、家に持ち帰ってください。
- 10月末までに引き取りのない場合は、個々人に通告することなく処分しますので、ご了承ください。

街美化ボランティア

9月28日(土) 16:00より約1時間(雨天決行)

作業のできる軽装で、10分前に1階ロビーに集まってください。その際、警察への届け用紙と学校の参加カードの両方に記名してもらいます。

(特別活動1時間。ただし、遅刻や途中退出の場合は認定できません。)

事務室からのお知らせ

【受験に必要な証明書発行手続きについて】

- 受験に必要な証明書を必要とする場合は、「証明書発行願（受験用）」に記入して原則として下記の①（窓口申込）により申し込んでください。特別な事情がある場合には下記②（郵送申込）も受け付けますが、必ず電話でHR担任と確認のうえ行ってください。電話・FAXやメールでは申込みできません。
- 証明書発行までに1週間を要します。下記の表を確認のうえ日数の余裕を持って手続きしてください。

- ① 窓口申込：受験予定校の願書・募集要項を持参してHR担任と相談、「証明書発行願（受験用）」を記入のうえ担任確認印をもらってから事務室窓口へ手数料を添えて申し込んでください。（生徒証明書の提示が必要）
- ② 郵送申込：『学務の手引き 2013年度版』巻末の「証明書発行願（受験用）」をコピーして記入・押印し、手数料と返信郵送料の合計料金分の郵便切手を同封して郵送してください。（郵便が事務室に届いた日が受付日となります。発行に日時を要しますので、余裕をもって申し込んでください。）

※必ず事前に電話でHR担任と確認のうえ行ってください。

手 数 料
発 行 日

種 類	申込用紙	通常		英文発行	
		手数料	発行日	手数料	発行日
成績・単位修得(見込) 証明書	証明書発行願 (受験用)	300 円	受付から 1週間後	300 円	受付から 1週間後
調査書		500 円		1,000 円	
推薦書					

返信郵送料

証明書の枚数	郵送料(普通)	速達料金
1～2 通まで	80 円	+270 円
3～5 通まで	90 円	
6～10 通まで	140 円	

【2013 年度後期学費の納入について】

- 2013 年度後期学費納入案内については、10 月下旬頃に学校から郵送でご案内の予定です。
納入期限は、11 月中旬を予定しています。
- 学費納入期限の延期（延納）、または、分割納入を希望する場合の手続きについても同様に 11 月中旬までに行ってください。手続きの詳細については納入案内に記載いたしますのでご確認ください。

【各種奨学金、給付金について】

現在募集中の各奨学金について下記の表に記載しています。申込希望の場合は事務室へお申し出ください。

（注意事項）

- ※申し込みの条件がありますので募集要項や申請書をご確認のうえ申し込んでください。
- ※所得の制限や成績を問うものについては特によく確認してお申し込みください。予算枠や申請条件がある奨学金等については、申請しても採用にならない場合もあります。ご了承ください。

		名 称・内 容・金 額				申込書学校提出締切日	
貸 与	日本学生支援機構 ・平成 26 年度大学等奨学生予約採用 （対象）来年大学・短大・専門学校等に進学した場合の予約奨学金 （貸与月額）下記表参照					第 2 回申込期限 （第二種のみ） 11月15日（金） [候補者内定 2月下旬予定]	
	区分	第一種奨学金(無利子貸与)					第二種奨学金 (有利子貸与)
		大学		短大・専修学校			
		自宅	自宅外	自宅	自宅外		
	国公立	45,000 円	51,000 円	45,000 円	51,000 円		30,000 円・50,000 円・ 80,000 円・100,000 円・ 120,000 円から選択
	私 立	54,000 円	64,000 円	53,000 円	60,000 円		
上記貸与月額又は貸与月額 30,000 円のどちらかを選択							
入学時特別増額貸与奨学金 （初回基本月額に有利子奨学金を増額して貸与する制度）も同時に申し込みが可能です。金額は10万円・20万円・30万円・40万円・50万円から選択。							

【高等学校等就学支援金について（対象者のみ）】

- 就学支援金の現在の状況について、9月20日付「国の就学支援金についてのお知らせ」にてお知らせをしています。制度の詳細や支援金の残りの月数、単位数について記載していますのでご確認ください。
- 後期学費については、前期同様に「支援金」を差し引いて、10月下旬頃にご案内の予定です。
- 年度の途中で婚姻またはその解消により、保護者に変更があった場合は、新たに申請書の提出が必要です。毎月初日の保護者の市町村民税の所得割額が基準となりますので、加算の対象となる場合は、必ずその時点で手続きを行ってください。
- 今後の加算申請については、提出があった月の翌月から支給対象とすることができます。
- 後期講座登録を行わない場合は、就学支援金はありませんが、対象月数が減ってしまいますので「休学」の手続きとともに支援金の「停止」手続きを行ってください。

【住所等変更手続きについて】

- 現在学校に届けている住所や電話番号などが変更になった場合は、速やかに「各種変更届」に記入・押印のうえ事務室へ提出してください。

特に生徒証明書の切り替えの時期ですので、変更事項が決まっている場合は早めに届け出るようにしてください。

- 通学経路が変わる場合は、「通学割引証申請カード」を変更しますのであわせて提出ください。
(即日発行はできません。)

- 届出用紙は事務室にある他、『学務の手引き 2013 年度版』の巻末にもあります。コピーして使用してください。

【大阪府私立高等学校等授業料減免制度について】

- 大阪府では、大阪府等の私立高等学校に在籍する生徒の学資負担者(大阪府内在住)の方が、経済不況に伴って今年になってから家計が急変したために学費の納入が困難になった場合、生徒の修学を保障するために学校に対し補助金を交付(全額または半額)する制度があります。

- 対象となる要件は下記の①②いずれかが該当することとなっていますが、それ以外にも細かい条件があります。

申請を希望する場合は事務室へ下記の①②いずれが対象となるかご確認のうえ申請書をご請求ください。

(対象となる要件)

- ①経営状況の悪化に伴う会社の倒産・解雇により失職した場合
- ②会社等の経営状況の悪化に伴い収入が前年より著しく減少した場合

進路支援からのお知らせ

≪卒業年次生の皆さんへ≫

【面接について】（『それぞれの未来へ』参照のこと）

- 今後、推薦入試や就職などで面接試験を受ける人も多いと思います。面接は自分をアピールする場です。何回も練習して、自分の良い点を相手の人に伝えられるようにしましょう。また、受け答えは明るくはきはき礼儀正しく行いましょう。

【進路相談について】

- 本校では特別に進路面談期間を設けずに、随時ホームルーム担任と進路相談を行なうようにしております。ご希望の方はホームルーム担任と面談日時を調整してください。また、推薦入試や就職などで面接練習を希望される場合も、ホームルーム担任にご相談ください。

【3階進路コーナーを活用しよう】

- 進路（進学・就職）に関する情報は3階「進路コーナー」に掲示しています。また「進路コーナー」に置いてある案内書や募集要項は自由に持ち帰ることができますので活用してください。なお、進路に関する情報は、1階職員室カウンターでも見るができます。

【大学入試センター試験について】（『それぞれの未来へ』参照）

- センター試験は、国公立大学の一次試験であるとともに、多くの私立大学が利用する試験です。試験日は来年の1月18日（土）、19日（日）です。積極的に受験してください。
- 『受験案内（志願票）』が必要な生徒は、1階職員室カウンターで簡単な手続きをしてください。
- 高校への『志願票』の提出締切は10月1日（火）です。現役生の場合、出願は高校で取りまとめて行うことになっています。個人では出願できません。**提出期限までに検定料を指定の金融機関の受付窓口（ATMは利用しないこと）で納入し、『志願票』に必要事項を記入した上で『検定料受付証明書』を所定の位置に貼り、1階職員室カウンターまで提出してください。

【指定校推薦入試について】（『それぞれの未来へ』参照）

- 指定校推薦入試の出願を希望する人は、『学校通信8月号』に同封した『指定校推薦入試等受験申込みについて』をよく読んで、**四者面談の上、9月30日（月）17:00までにホームルーム担任に『申込書』を提出してください。**ただし、出願締切が10月11日（金）以前の場合、その2週間前（2週間前が土曜・日曜、祝日の場合はその前日）の17:00が校内締切です。
- 指定校推薦入試はすべて専願です。合格すると辞退できませんのでご注意ください。**

《New》【指定校推薦依頼校の追加】《8月17日（金）以降の追加分》

- 指定校推薦入試依頼校の追加分をお知らせします。推薦基準、募集人数、出願期間、募集学部・学科などの詳細はお問い合わせください。

有明教育芸術短期大学(子ども教育学科/芸術教育学科)	篠原保育医療情報専門学校
大坂歯科学院専門学校	東京国際ビジネスカレッジ
神田情報ビジネス専門学校	ル・クレ・櫃原美容専門学校

【模擬試験の案内】

- 大学や看護系専門学校等の受験を考えている人は、落ち着いて学習を続けるとともに、模擬試験を積極的に受けましょう。不得意分野を発見し、今後の学力の伸びを確認するためにも必要です。
- 次回『進研模試』：10月19日（土）記述模試** →申込は1階職員室カウンターでしてください。

【学力は伸びる ～大学等の一般入試に向けて～】

- 学習を続けているのに成績に反映されず、不安になることがあると思います。しかし、成績の伸び方は決して一様でなく、横ばいの状態が長く続いた後、ある時期に急速に上向きに転じ、あるところで安定してくるものです。あせらずあきらめず、何とかそこまでがんばってほしいと思います。現在の成績で学力を判断しないようにしてください。

【募集要項（願書）の入手について】

- 募集要項（願書）を入手するには、ホームページから申し込むか、願書一括サービスを利用するなどの方法があります。オープンキャンパス（学校見学会）で入手できる場合もあります。出願期間が近づいてきたら志望校の募集要項（願書）を取り寄せるようにしてください。

【『オープンキャンパス』に参加しよう】

- 進学希望者は、『オープンキャンパス（学校見学会）』に積極的に参加し、自分の目で各学校の特色を確認しましょう。
- 『オープンキャンパス』に参加すると**特別活動2時間（上限は10時間）が認定されます。**

【調査書・推薦書の発行について】

- 調査書・推薦書が必要な人は、1階職員室カウンターで「証明書発行願」を受け取り、必要事項を記入した上で担任に申し出てください。その際、**出願先、受験方式を必ず記入してください。**また、保護者名（押印）を忘れないようにしてください。（本人が成人の場合は不要です。）
- 調査書・推薦書の発行には1週間かかります。必要な費用を添えて余裕をもって事務室に申し込んでください。**推薦書の用紙は願書の中に入っていますので、持参するようにしてください。
- 調査書・推薦書の発行についての詳細は、「事務室からのお知らせ」（P.7）をご覧ください。

【推薦条件について】（『それぞれの未来へ』参照）

- 本校が推薦書を発行する場合の条件は、**公募制推薦の場合、前期終了時点で54単位以上修得していること、また指定校推薦の場合、前期終了時点で60単位以上修得していること**と、「校内生活上のきまり」の「担任注意」を2回以上受けていないことが条件となります。

【専願での出願について】

■**専願で大学・短大・専門学校に出願する場合、合格すると必ず入学することが条件となります。**

他の大学・短大・専門学校を併願することはできませんので注意してください。指定校推薦や多くのAO入試、一部の推薦入試に見られますので、出願に際して十分注意するようにしてください。

【予約奨学金について】

- 予約奨学金とは、日本学生支援機構が実施している奨学金の制度で、大学・短大・専門学校等へ進学を希望する卒業年次生が入学前に（高校在学中に）奨学金を予約する制度です。進学先が確定していなくても申込みができます。詳しくは「事務室からのお知らせ」（P.8）をご覧ください。

就職について

【学校紹介で就職を希望する人へ】（『それぞれの未来へ』P.12 参照）

- 学校紹介での就職選考が9月16日（月）より始まっています。**高卒求人票の閲覧（えつらん）を希望する人は、1階職員室カウンターでホームルーム担任または進路担当者まで申し出てください。関心のある会社があれば、進路担当者または担任に希望を伝えてください。
- 応募書類（履歴書・調査書・紹介状）は学校から郵送します。**応募先が決まった人は調査書を申し込み、履歴書（指定のもの）を作成してください。なお、応募は同時に2社以上できません。
- 面接が終わったら、「就職受験報告書」をホームルーム担任または進路担当者に提出してください。**
- 内定すると辞退することができません。応募の際に慎重に考えてください。当然、卒業が確実であることが求められます。**
- 最初の応募で決まらなくても、あきらめず粘り強く就職活動を続けてください。12月2日（月）からは会社が認めている場合に複数応募が可能となります。また、11月に「合同求人説明会」（日程・場所未定）が行われますので活用してください。

【縁故紹介や一般求人を見て就職を希望している卒業年次生へ】

- 家族や知り合い等の紹介（縁故紹介）で就職をする場合、または新聞やインターネット、雑誌の一般求人情報を見て応募する場合、各自がそれに応えられるように活動をすすめてください。現在のアルバイトからそのまま正社員に採用というケースも見られます。多くの場合、学校からの書類は必要ありませんが、履歴書（市販のもの）が必要になる場合があります。

≪ 『進路サポートスペース』 からのお知らせ ≫

進路サポートスペースは、皆さん一人ひとりの進路選択をサポートする、「**未来の自分への窓口**」です。
「まだ将来のことが漠然としていて、ゆっくり考えていきたい」という人も、「履歴書の上手な書き方や自己PRの仕方を知りたい」という人も、ぜひ一度、相談に来てください。

『進路サポートスペース』

☆こんな相談ができます

- ・就職活動についてアドバイスがほしい
- ・自分のやりたいことがわからない
- ・将来の仕事も考えて進学先を決めたい
- ・自分の適性を知りたい
- ・アルバイトをしてみたいけど、初めてなので不安
- ・卒業後の進路が決まっていない
- ・自分に合った仕事やアルバイトが見つからない
- ・外に出たい人と会ったりするのが苦手
- ・将来、社会に出ることに不安を感じている
- ・その他、働くことや進路についての相談

実施日 : 9月27日(金)、10月4日(金)、18日(金)、22日(火)、28日(月)
※10月11日(金)は学校休業日です。

時間帯 : 10時～16時(1回50分程度)

場所 : 午前…2F カウンセリングスペース 午後…1F 面談ブース

対象 : 生徒・保護者・卒業生

担当 : 蒲原 純子(かんばら じゅんこ)さん
(大阪府若者サポートステーション キャリアカウンセラー)

* 職員室カウンターで予約をしてください。電話での予約もできます(担当:川口)。

* 実施日・時間帯については、毎月の学校通信でご確認ください。

生徒支援からのお知らせ

【スクーリングが始まるまでの来校について】

- 後期スクーリングが始まるまで、生徒のみなさんが学校に来校できるのは、各自の後期講座登録日です。1Mクラスは10/17（木）にスクーリングがあります。
- 後期スクーリングが始まるまでは、2F ライブラリー、7F スポーツヤードを含めて学校施設は使用することはできません。
- 証明書発行などで事務室に用のある人、担任と相談する必要がある人は来ることができます。3年次生のみなさんは進路相談などで学校に来る機会も多くなると思います。担任が不在のこともあるので、事前に電話などで約束を取るようにしてください。

【スクーリングが始まったら】

- 本校では、生徒の皆さんの学習環境を守るため、『2013年度版 学務の手引き』の「学校生活上の決まり」（P.40、下記掲載）や「校内生活における確認事項」（P.41）を定めています。もう一度確認し、学校に来たときはきちんと守りましょう。

学校生活上の決まり

◆学校生活全般◆

- (1) 自動車・バイク・原付での通学（スクーリング（授業）期間中以外も含む）を禁止します。自転車通学を希望する人は学校の許可を受け、許可証を貼った自転車を使用してください（駐輪場は東側駐輪コーナー）。駐輪スペースに限りがあるので、整理整頓に心がけてください。
- (2) 生徒（成人を含む）の喫煙は厳禁です。学校内および学校の周辺を含めすべて禁煙です。
- (3) 5階以上の階については、体育などのスクーリングで使用するとき以外、生徒の立ち入りはできません。また、地階についても、生徒の立ち入りできません。
- (4) 学校施設のスクーリング目的以外の使用には、あらかじめ学校の許可が必要です。無断での使用はできません。
- (5) メールでの中傷などを含め、他の生徒に対する迷惑行為を禁止します。

◆スクーリングに関して◆

- (6) スクーリング（授業）中や単位認定テストの時間中の教室内での携帯電話の使用は禁止します。必ず電源を切っておいてください。
- (7) スクーリング中、単位認定テストの時間中における私語など、授業やテスト実施に迷惑を及ぼす行為は禁止します。
- (8) 上記（1）～（7）以外にも、学校生活において 著しく逸脱した行為を厳禁します。

上記の事項を遵守できない生徒は、規定による措置をします。（『学務の手引き』P.39「賞罰規定」参照）

<生徒支援からのお願い>

貴重品の自己管理を徹底しましょう

貴重品は自分自身でしっかりと管理しましょう。

教室、ロビー等で席を離れる際には荷物を置きっぱなしにしないなど、自己管理を徹底させましょう。

本校生以外の方（友人含む）を学校に連れてこないようにしましょう

YMCA学院高校生以外の方は、友人であったとしても無許可で校内に入られると不法侵入になります。発見された場合、連れてきた本校生が処分の対象となります。注意してください。

【「学習アシストルーム」について】

■後期スクーリングスタートに伴い、「学習アシストルーム」を開室します。

同封の用紙にて申し込んでください。前期登録者もあらためて申し込んでください。

- 2013年10月29日（火）～12月19日（木）の期間中 毎週火曜・木曜の13:00～16:00に開室
- 登録制 各期：5,000円
- 「学習アシストルーム」は、自学自習の習慣をつけるために開設しており、教室にいる教職員や他の生徒と一緒にレポート作成に取り組みます。
詳細は、同封の『「学習アシストルーム」のご案内』をご確認ください。

◆保健室からのお知らせ

* 10月10日は目の愛護デー

目の疲れは、視力の低下を引き起こすだけでなく、脳を疲れさせます。日頃の生活で目を疲れさせないようにしましょう。

- ・文字は、正しい姿勢で、明るいところで書く。
- ・目と本の間は30cm以上離し、暗いところ、日のあたる場所で読まない。
- ・テレビを1時間以上続けて見ない。部屋を明るくして、2～3m離れて見る。時々休憩する。（テレビゲームも同様）
- ・パソコンの画面は、40～70cm離し、少し暗めに調節する。
- ・好き嫌いなく、何でも食べる。（特にビタミンAがよい）
- ・前髪が長いと視界が悪くなるので、目にかからないようにする。

* 後期スクーリング開始までの健康管理について

・温度差に注意！

朝夕と昼間の気温差、冷房が効いている場所とそうでない場所の温度や湿度の差で、体調を崩しやすい時期です。調節しやすい服を選びましょう。

・生活リズムを整える

食事や睡眠が十分ではないと、栄養が補給できず、疲労も回復されないので、免疫力が低下します。こまめに水分も補給しましょう。

・不調を感じたら医療機関へ

早期に対応することで重症化せず、早く治りやすくなります。自己判断はなるべくしない方が良いでしょう。

◆カウンセリングスペースからのお知らせ

《カウンセリング》

*開室時間と担当者

月曜日：川口彰範さん 13：30 ～ 16：30

水曜日：西村博子さん 13：30 ～ 16：30

金曜日：道嶋公子さん 13：30 ～ 16：30

※後期は、通常スクーリング期間中と、単位認定テスト（筆記式）期間中に開室します。

※保護者の方もご利用いただけます。お問い合わせ、ご予約は保健室（後藤）までご連絡ください。

<2013 年度前期 保健室・カウンセリングスペース便り>

「第一印象の不思議」

水曜日担当 西村 博子

ここ数年、学生さんたちに尋ねる機会があります。「第一印象って、どれくらいの時間で決まる？」そんな時には、さっと手や声があがり、元気に答えてくれます。「3秒」と。そうなんです。初対面の人と人が出会ったとき、だいたい3秒から6秒で、ほぼ80%、その人の第一印象が決まると言われています。

1971年、アメリカの心理学者アルバートメラビアンさんは、人と人とのコミュニケーションにおいて影響を持つ3要素を、研究し提唱しました。それは、人の行動がどのように他人に影響を及ぼすかということで、「視覚 (Visual)」「聴覚 (Vocal)」「言語 (Verbal)」の3つの情報を取り上げました。具体的には、視覚情報とは、その人の見た目、表情、しぐさ、視線。聴覚情報とは、その人が話す声の質、強さ、大きさや口調。

そして言語情報とは、言葉そのものの意味です。それらの情報の割合は、55%、38%、7%で、それぞれの情報の頭文字から3Vの法則とも言われています。

第一印象のことを考える時、これらの情報は大いに活用されます。視覚から入る身だしなみ、態度・動作・表情、聴覚から入る声の調子・話し方・言葉遣い、そして、それらから入る情報が、好感が持てる方向で生かされてこそ、言葉そのものに感情移入がされ、さらにそれが生きてくるのです。

第一印象だけで人を決めつけてはいけないのに…確かにそうです。初対面より、その後その人の持つ、より素晴らしいところに出会うことは多いです。カウンセリングスペースでも、初回から何度もお会いして聴いていくうちに、その人らしさやその人らしいところに出会わせていただいています。

一方、ビジネス社会では、入社などの面接の状況を考えると、第一印象で決まるという現実があるからこそ、その重要性・大切さが言われるようになった表現と捉えることもできます。現実には面接の準備では、これらの3つの情報に関して、さまざまな練習が行われています。

最後になりましたが、第一印象もさることながら、その後の出会いを通して、よりその人らしさに触れたとき、その時ほど嬉しいことはありません。それは、それぞれの人が持っている、第一印象よりも深く豊かなその人の宝物を知るからです。

「ひとのフリ見て…」

保健室担当 後藤 さやか

ある日、近所のスーパーへ行った時のことです。狭い通路の真ん中に、買い物カゴ（台車に乗せたもの）がありました。カゴの持ち主は、商品を選んでいて、通る人を気遣う気配もありません。台車を避けて通り過ぎたとき、床に並べて置いてあったお菓子（ポテトチップス・筒入り）が二箱分ほど、パタパタと崩れてしまいました。私の持っていたカゴが当たって倒れてしまったのです。そのすぐ横の通路で、商品の陳列をしていた店員さんが気付いて、とても小さな声で「どうしようもねえな」と言いました。—…聞こえてますよ！?— 通路にカゴを置いていた人は、それを見て立ち去ってしまいました。“冷たいなあ”と思ったけれど、それは仕方のないことかもしれません。

商品を拾って元通りに並べている間も、「申し訳ございませんでした」と頭を下げて、その店員さんは一言も話さず、顔も上げず、私の方を向くこともありませんでした。とても控えめに言って、残念だったし、“もうあんまり来たくなくなるかも”と思いました。

また別の日、ホームセンターに行きました。マイボトル（水筒）を買いたくて、手に取ろうとしたとき、見本品を棚から落としてしまいました。季節に応じた特価品を並べてある棚で、少し高い所にあり、奥行きもあったので、注意はしたつもりだったのですが不十分でした。水筒のフタの部分は、衝撃で割れてしまっていました。

近くにいた男性が、外れて飛んでしまったフタを、拾って持ってきてくれました。その方にお礼を言い、店員さんを探して、私が「すみません、ディスプレイ用の見本品、落として割ってしまったんです」と言うと、店員さんは「落ちるような所に、置いていてすみませんでした」と言ってくれました。「弁償します」とも言ったのですが、「大丈夫ですよ、お怪我はされていませんか？」とも聞いてくれました。申し訳なさで、冷や汗いっぱいでしたが、心は温かくなりました。

「人の振り見て我が振り直せ」ということわざがあります。改めて、どんなときでもできるだけ丁寧に、誠意を持って人と接したいし、困っている人には声をかけたいと思いました。でもまず、この横着でそそっかしいところを、直すべきかもしれません。

後期も生徒のみなさんが、健康で有意義に過ごせますように。

「『ルーム』と『スペース』のあいだで」

月曜日担当 川口 彰範

単位認定テスト終了までで、今年度前期のカウンセリングスペースの利用は、延べ80回以上になりました。実数で30名弱の生徒や保護者が来談しています。保健室を訪ねたついでに「どんな部屋かな」と覗いてくれた人、ずっと誰にも話せなかったことを話そうと思いついて予約をしてくれた人… カウンセリングスペースに足を向ける人の思いもきっかけも、それぞれです。

ところで、「カウンセリングスペース」という呼び方、5年ほど前に「カウンセリングルーム」から名前が変えられたのだそうです。「ルーム」にも「スペース」にも、「場所」という意味がありますが、「ルーム」というと「部屋、壁で区切られた場所」という感じが、「スペース」というと「何かの間に空いた隙間、ある広がりを持った空間」という感じがします。「スペース」という名前をつけた背景には、当時カウンセリングに関わっていた先生方の「気軽に話しに来られる開かれた空間にしたい」、「“部屋”という場所にこだわらず、学校全体でカウンセリング的な関わりを大切にしたい」という思いや願いがあったようです。そう思うと、「カウンセリングスペース」という名前に、この学校らしさが現れている気がします。

カウンセリングの場がどんな場所であるのがよいと考えるか、というのは、実は結構難しい問題だな、と思います。気軽に来られるという点では、開かれた、敷居の低い雰囲気がいいかもしれない。でも、誰にも話したことの無い、大事なことを話す場所としては、そこが、しっかりと閉じて守られていることも大切です。そう考えると、「カウンセリングルーム」という呼び方も、それなりの意味があって捨てがたい。実は、校内を注意して見ると、「カウンセリングルーム」という昔のままの表記が残っているところがあって（探してみよう！笑）、だから、それはそれで良いと思うのです。そんなこんなで、カウンセリングスペースが、2階の長い廊下の一番奥で、となりの保健室へはドア2つ隔てた場所にある（と言っても一度廊下に出るわけではない。さて、どんな間取りになっているかわかりますか？）、というのは、個人的には、なかなかいい作りになっているなあ、と思います。

カウンセリングスペースを気軽に覗いて、何気無い話をしに来ているうちに、だんだん大事な話をする特別な場所になっていくこともあるかもしれないし、大きな悩みや不安を抱えて飛び込んできて、だんだん話もできるようになっていくこともあるかもしれない。きっと、今カウンセリングスペースを利用しているじ方も、いろいろでしょう。それぞれの「感じ」を大切にしながら来談してもらえたいと思っています。

この学校には、保健室とカウンセリングスペースの他、学習アシストルーム、フィジカルサポートスペース、進路サポートスペースと、「ルーム」「スペース」の名前をもつ場があって、それぞれ、担当の教員やスタッフが皆さんをサポートしたいと願って活動しています。気になる場所があったら、気軽にでも、そうでなくても、一度足を運んでみてください。次の後期、どんな出会いがあるのか、楽しみにしています。

「ネコに教わったこと」

金曜日担当 道嶋 公子

「大事なことはみーんな猫に教わった」そんな絵本があるくらい、ネコは生き方についていろんなことを教えてくれる。ウチはネコ3匹と暮らしているが、まあほんとにいろんなことを私に教えてくれる。もう死んでしまったが1代目のこじろうは、「自分らしさをつらぬいても嫌われないこともある」ということを教えてくれた。実際こじろうがどんなに悪さをして、私はちっともこじろうのことを嫌いにならなかった。3代目のかりんときよしろうは、「体の弱い子どもを育てるお母さんの気持ち」を私に体験させてくれた。そして2代目のこひめは、「今すべきことを迷いなくする」を私に教えてくれている最中。1月に白血病にかかり、その後何度となく高熱を出し…「もうアカンなあ」を何度も繰り返している。高熱が出る。するとこひめはこうする。3日ぐらい全く飲まず食わずでじっとしている。死んだ？と思うくらいじっと。すると必ず復活する。不思議なくらいに元気いっぱい。その後、数週間は朝早くから「かーちゃん飯。はやく。はやく」と私を起こしガツガツご飯を食べ元気いっぱい活動する。その時やらなければいけないことに集中してそのことを迷いなくする。その迷いのない姿にはカッコよさをも感じます。私にとってネコはやっぱ生きることについての師匠です。

ところでみんなの師匠は誰ですか？

◆フィジカルサポートスペースからのお知らせ

参加費無料!

フィジカルサポートでは、下記のようなサポートをしています。

- * 基礎体力の向上
- * 運動不足の解消
- * ダイエット
- * 体のゆがみや姿勢の矯正
- * 怪我や病後のリハビリ
- * 各種スポーツの競技力アップを目指すトレーニング
- * スポーツ関係への進路相談

《スクーリング期間外開催日》

スクーリング期間外は、毎週火曜日と金曜日 午後2時～5時にオープンしています。

希望者が多かったり、担当者が不在の時もあるので、必ず事前に電話にて予約をお願いします。

- ※ 時間途中からの参加、途中退場は自由です。
- ※ 初めて参加をする人は、運動しやすい服装と上履きを持参してください。
- ※ 2回目以降は、担当者にメールにて、事前に連絡をしてください。
- ※ 担当 内山



今月の聖句



「あなたがたがわたしを選んだのではない。わたしが
あなたを選んだ。あなたがたが出かけて行って実を結び、
その実が残るようにと、またわたしの名によって父に
願うものは何でも与えられるようにと、わたしがあなたが
たを任命したのである。」

(ヨハネによる福音書 15章16節)

私は、教会の牧師以外に、非常勤で聖バルナバ病院にも関わっています。

時々「誕生感謝と幼児祝福の祈り」を依頼されることがあります。これは嬉しいことです。

同時に、死産をされた方の「お別れの礼拝」も依頼されます。これはとても辛いことです。

生命の尊さを思われます。私たちは自分の意思で生まれてくるわけではありませんし、

親もまた子どもを選べるわけではありません。人間の思いを超えて、私たちは存在しています。

因みに「私は1995年に生まれました」を英語にすると、I was born on 1995. と、

奇しくも受動態になっています。“与えられた”自分の生命を大切に歩みましょう。

(日本聖公会大阪聖愛教会・大阪聖三一教会 齊藤 壹 司祭より)